



令和7年度

宇 小 だ よ り

(7月号)

令和7年7月1日
かほく市立宇ノ気小学校
TEL 283-0014
校長 榎 千穂子



ホームページはこちら

「見守るまなざしが、子供たちを育てる」



「梅雨はどこに行ってしまったのだろう?」と思うような、暑さが続いています。登校してくる子供たちは汗を光らせながら玄関前のミストを浴び、「あー気持ちいい!」と声を上げ、ほんの一瞬のさわやかさを味わって校舎に入っていきます。学校に着いた早々、「今日はプールありますか?」と聞いてくる子もいて、プールの時間を心待ちにしている子供たちの表情にこちらまで笑顔になります。

新年度が始まってから早くも3ヶ月あまりが経ちました。子供たちは日々の学びや活動を通して大きく成長してきました。

6月には、4年生の器械運動交歓会・5年生音楽会がありました。本番を迎えるまでには、うまくできなかったこと、くじけそうになったこともあったはずです。しかし、仲間と支え合い、一つひとつの課題を乗り越え、「発表会で一番いい姿を見せる」という目標に向かって努力を重ねてきました。その過程の中で、子供たちは「やればできるようになる」という経験と自信を得たように思います。

また、1年生の朝顔・2年生のミニトマト・3年生のホウセンカなどの植物のお世話を通して、「命の大切さ」や「育てる喜び」が確実に根づいていることを感じます。休みの日にも、家の方と一緒に水やりに来る子の姿も見られます。こうした日々の積み重ねの中で、責任感や思いやりの心が少しずつ育まれていくのだと思います。

1学期も残りわずかとなりました。子供たち一人ひとりがこの1学期をどう過ごし、どのように成長してきたのかをふり返り、次のステップへつなげていけるよう、学校全体でしっかり支えてまいります。保護者の皆様には、通知表を通してお子様とともに「がんばりの足あと」をたどっていただければと思います。結果の数字だけでは見えない成長や日々の努力が、そこには詰まっています。結果より「努力してきたこと」や「工夫したこと」をほめることで次への意欲と自信にもつながります。



暑い日が続いているが、子供たちは今日も「できた」「できなかった」の壁をこえ、確かな一步を踏み出しています。子供たちの挑戦は、いつも成功とは限りません。時には失敗、やり直し、落ち込むこともあるでしょう。けれども、大切なことは、「あきらめずに前へ進むこと」です。その歩みを、どうかご家庭でも温かく見守り、励ましの声をかけていただければ幸いです。

今後も変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いします。

